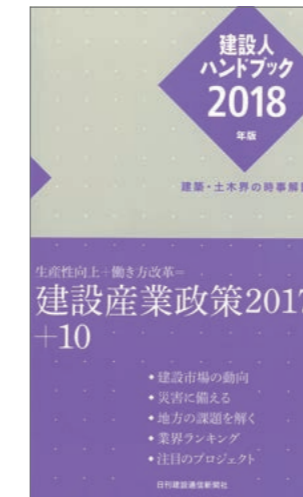


新刊紹介



建設人ハンドブック 2018年版 建築・土木界の時事解説

編集：(株)日刊建設通信新聞社
発行：(株)日刊建設通信新聞社
仕様：新書版 216ページ
定価：800円(税別)

(株)日刊建設通信新聞社が、2004年から毎年発行している建設人ハンドブックの最新版である『建設人ハンドブック2018年版 建築・土木界の時事解説』がこのほど発刊された。

18年版は巻頭で「建設産業政策2017+^{ぶらす}10」を特集している。ご存じのとおり、「建設産業政策2017+10」は、本年7月に国土交通省内に設置された建設産業政策会議が取りまとめ公表した。劇的な進展を遂げるAI、IoTなどのイノベーション、確実に到来する労働力人口の減少事態を正面から受け止め、10年後においても建設産業が「生産性」を高めながら「現場力」を維持できるように、法制度をはじめ建設業関連制度の基本的な枠組みについて有識者による検

討を行ってきたものである。建設産業にとって最大の課題である担い手の確保・育成を踏まえて、それを支える働き方改革や生産性向上といった取組みの必要性を強く打ち出している。本書では、生産性向上と働き方改革を力強く進め、10年後の建設産業の姿を描こうとする挑戦が始まったことをわかりやすく解説している。

この他、同書の特徴である建設産業に関連した市場動向、企業経営のトレンド、全国の建設プロジェクト、企業ランキング、建設キャリアアップシステムなどのトピックスの最前線の情報を通じて、新人からベテランまで建設産業の「いま」が実感できるよう構成されている。